

全施連 11周年

発行者
一般社団法人
全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 由岐 透
編集
全施連広報部会
住所
〒650-0016
神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター内

全施連・第11回全国大会 開催される!

開会式

◆全施連副理事長兼神奈川施保連会長・岩本邦雄の開会宣言
「ようこそ横浜に!参加者を歓迎します。参加した家族・関係者の力で、過去10回大会の成果をベースに、神奈川大会が次の10年の新しいスタートを切る大会にしたい」と歓迎と決意を述べ開催の宣言としました。

全施連 主催者挨拶

◆由岐理事長は開会にあたり主催者として、「今大会が『知的障害のある人にとって最適な生活の場とは、障害の多用性さらにはライフステージに応じた生活の場を考える』

全施連・第11回全国大会は、神奈川施保連が担当し、平成27年10月20日〜21日横浜中華街のローズホテルで開催しました。大会のテーマは「知的障害のある人にとって最適な生活の場とは、障害に多様性さらにはライフステージに応じた生活の場を考える」でした。大会当日は天候に恵まれ、全国各地から五百七十余名の参加者が集い、おおいに盛り上がった大会になりました。

というテーマで全国の家族が活発な意見交換を行い、今後全員の理解を深まること期待している」と述べました。



来賓祝辞

◆神奈川県副知事・吉川伸治様、横浜市副市長・柏崎誠様、公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長・橋文也様からご祝辞を賜りました。

情勢報告

◆全施連・由岐透理事長から情勢報告がありました。由岐理事長からは現下の障害福祉の動向の報告の後「全施連が取り組んでいる知的障害者の終の住処に関する課題は65歳問題、3か月問題、配置医師問題と成年後見制度であり、今後知的障害者に役立つものになるよう取り組んで行く」ことを訴えました。

講演

講演は知的障害のある人にとつての安心できる生活とは「障害者権利条約をベースに新たな社会づくりを」というテーマで特定非営利活動法人日本障害者協議会代表藤井克徳様からのご講演をいただきました。

藤井氏は日本が批准した国連障害者権利条約を中心にお話をされました。

この障害者権利条約が日本の障害福祉の向上に果たす役割は大きく3つのポイントがあり、ひとつは「世界共通ルール」の役割、二つ目は「誰でも納得する目標」の役割、三つ目は社会への「イエローカード」社会が条約の精神や規定に逸脱するならそれを警告する役割を果していることをあげてこれからの日本の障害問題の進むべき道と期待を示されました。

ご講演の内容は紙面の関係で省略しますが、詳細は大会報告冊子等にてご覧ください。

全員参加による 意見交換

今大会では、あらかじめ全国のご家族の方からテーマ1とテーマ2とに分けて意見募集を行いました。全国の意見募集参加者の中から選ばれた発表者(10名)および会場からの指名発言者(6名)にそれぞれのお考えを発表して頂きました。

どのようなあるべきかを意見交換しました。

意見発表者は①兼廣倫生氏(鹿児島)、②鈴木賢治氏(千葉)、③寺島章夫氏(岐阜)、④西脇かほる氏(神奈川)、⑤平山昭利氏(兵庫)、指名発言者は①千坂喜勝氏(兵庫)、②水谷孜氏(神奈川)、③高野軌子氏(千葉)でした。

コーデネターは全施連副理事長・南 守氏、コメンテーターは北九州市立大学文学部教授小賀 久氏、埼玉大学教育学部准教授宗澤 忠雄氏、近江ふるさと会理事総括園長飯田 雅子氏、神奈川施保連副会長嶋田 芳樹でした。
意見発表会は第一部と第二部に分かれて行いました。

第一部

テーマ1…「知的障害のある人たちの、障害の多様性さらにはライフステージに応じた「充実した日々の生活に必要な支援」とは、



ご家族の方々からの意見発表に対して、コメンテーターから数々の助言と指摘がありました。また、コーデネターからも「障害者権利条約の批准後で、合理的配慮がこれほど重要と言われている中で、施設の中では旧態以前の日課表での支援が行われている実態がある。全施連としてもすでに取り組みを始めているが、支援改善の推進には家族の自覚や意見具申も必要だ」との指摘がありました。

第二部

テーマ2…「知的障害のある人たちの、障害の多様性さらにはライフステージに応じた『最適な生活の場』とは、どのようなあるべきか」

①飯田武夫氏(兵庫)、②家田信忠氏(岐阜)、③岡本博氏(大分)、④佐々木哲彌氏(神奈川)、⑤富田重幸氏(北海道)、指名発言者①小林登志重氏(兵庫)、②佐々木常雄氏(群馬)、③安田由美氏(北海道)等代表の方々が意見発表を行いました。



意見発表対してコメンテーターから「障害の内容や高齢化等に合った施設、設備の設置の必要性や利用者への合理的配慮の観点から利用者のニーズに合った環境的条件を整えて行くべき」とのアドバイスがありました。また、「知的障害のある人への入所施設という単一な図式での要求は広く国の理解を得ることが難しいことも考えるべき」というアドバイスがありました。

今大会の意見交換については、事前にコメンテーターおよび発表者等との綿密な打合せなどを行った結果、スムーズに運営されました。意見発表が出来ませんでした。意見発表が出来ませんでした。意見発表が出来ませんでした。意見発表が出来ませんでした。

閉会式

◆大会決議が採択されました。
神奈川大会で採択された大会決議文は、今後加盟各県は決議内容の実現のために行政、関係組織等に広く訴えて行く予定されています。
◆次回大会の開催県である福岡県に、神奈川施保連から全施連団旗が手渡されました。
次回全施連福岡大会は平成28年10月18日(火)～19日(水)に福岡市で開催される予定です。